

南大東島観光地域づくりシンポジウム

開催概要

国立民族学博物館の「遺産の所有と利用に関する観光文明学的研究」プロジェクトと共同で、南大東島においてシンポジウムを開催。当財団は、同研究会のプロジェクトメンバーに参画してきたが、本シンポジウムが当財団の目指す地域振興への貢献と人材育成の機会づくりの方向性と合致することから開催支援を行ったものである。

シンポジウムでは、同研究プロジェクトの知見を生かし、講師および地域住民とともに近代化遺産、産業遺産を生かしたツーリズム開発の可能性について考え、その成果は研究報告書にまとめた。

■ 担当者 久保田美穂子・安達寛朗

■ 日時 05年3月9日～11日

■ 場所 沖縄県南大東村役場

■ 主催 国立民族学博物館「遺産の所有と利用に関する観光文明学的研究会」（代表幹事：九州大学大学院芸術工学研究院教授 西山徳明氏）、(財)日本交通公社

プログラム

3月9日（金）

- 13:00 島内視察
- 19:00 大東太古見学交流、ダイトウオオコウモリ観察

3月10日（土）

- 9:00 研究代表挨拶および参加者紹介
九州大学大学院芸術工学研究院教授 西山徳明氏
- 9:30 趣旨説明および南大東島の地域づくりへの取り組み
「島まるごとミュージアム構想実現に向けて」
京都嵯峨芸術大学観光デザイン学科教授 真板昭夫氏
(株)未来政策研究所主任研究員 比田井和子氏
- 10:15 事例報告「南大東村のサトウキビ開拓に絡む遺産と意義」
発表者：大東村教育委員会 宮城克行氏
コメンテーター：青森大学助教授 工藤雅世氏
- 13:00 研究発表1「南大東島における島嶼住宅の調査研究／IBA エムシャーパーク」
発表者：滋賀県立大学教授 松岡拓公雄氏
コメンテーター：大東市立生涯学習センター館長 笠井敏光氏
- 15:00 研究発表2「登録有形文化財制度の概要と社会的意義」
発表者：文化庁文化財部主任文化財調査官 江面嗣人氏
コメンテーター：京都嵯峨芸術大学助教授 山村高淑氏
- 17:00 研究発表3「産業遺産～横浜市の歴史を生かしたまちづくりと都市デザイン、横浜港臨海部の魅力形成～」
発表者：横浜市都市整備局(都市デザイン室)上席調査役・エグゼクティブアーバンデザイナー 国吉直行氏
コメンテーター：国立民族学博物館教授 關雄二氏

3月11日（日）

- 9:00 研究発表4「竹富島のNPOにおける文化遺産マネジメント」
発表者：(財)日本ナショナルトラスト事業課 池ノ上真一氏
コメンテーター：大阪芸術大学教授 下休場千秋氏
- 10:45 全体討議「南大東島における観光地域づくりに対する提言」
- 13:00 島内視察



シンポジウム参加者



展望台から製糖工場を望む



島内の方々と交えてディスカッション



報告書表紙

参加者数 30人